
平成23年度
生活習慣病予防健診受診者の
リスク保有割合について

リスク判定基準

(分母は、各リスクの判定が可能なデータの総数)

腹囲リスク	<ul style="list-style-type: none">・内臓脂肪面積が100cm²以上・内臓脂肪面積の検査値がない場合は、腹囲が男性で85cm以上、女性で90cm以上
血圧リスク	<ul style="list-style-type: none">・収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、または高血圧に対する薬剤治療あり
代謝リスク	<ul style="list-style-type: none">・空腹時血糖110mg/d以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり・空腹時血糖の検査値がない場合は、HbA1c5.5%以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり
脂質リスク	<ul style="list-style-type: none">・中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、または脂質異常症に対する薬剤治療あり
メタボリック予備群	<ul style="list-style-type: none">・ に該当し、かつ ~ のうち1項目のみに該当・非該当にはメタボリックリスク該当が含まれている
メタボリックリスク	<ul style="list-style-type: none">・ に該当し、かつ ~ のうち2項目以上に該当

業態別リスク保有割合

使用データ・集計方法

使用データ

- ・平成23年度事業所情報リスト(協会けんぽ本部提供データ)
- ・平成23年度健診受診者リスト(協会けんぽ本部提供データ)

集計方法

健診受診者リストには、対象者1名に対して医療機関の受診ごとに複数のデータが入っている状態なので、対象者1名につき1つのデータとなるよう重複しているデータを削除。

健診受診者リストの各リスク該当項目が空白となっているデータ、及び判別不可となっているデータを除外。

事業所情報リストに記載のある業態区分を、事業所記号と照合して健診受診者リストにデータ挿入する。

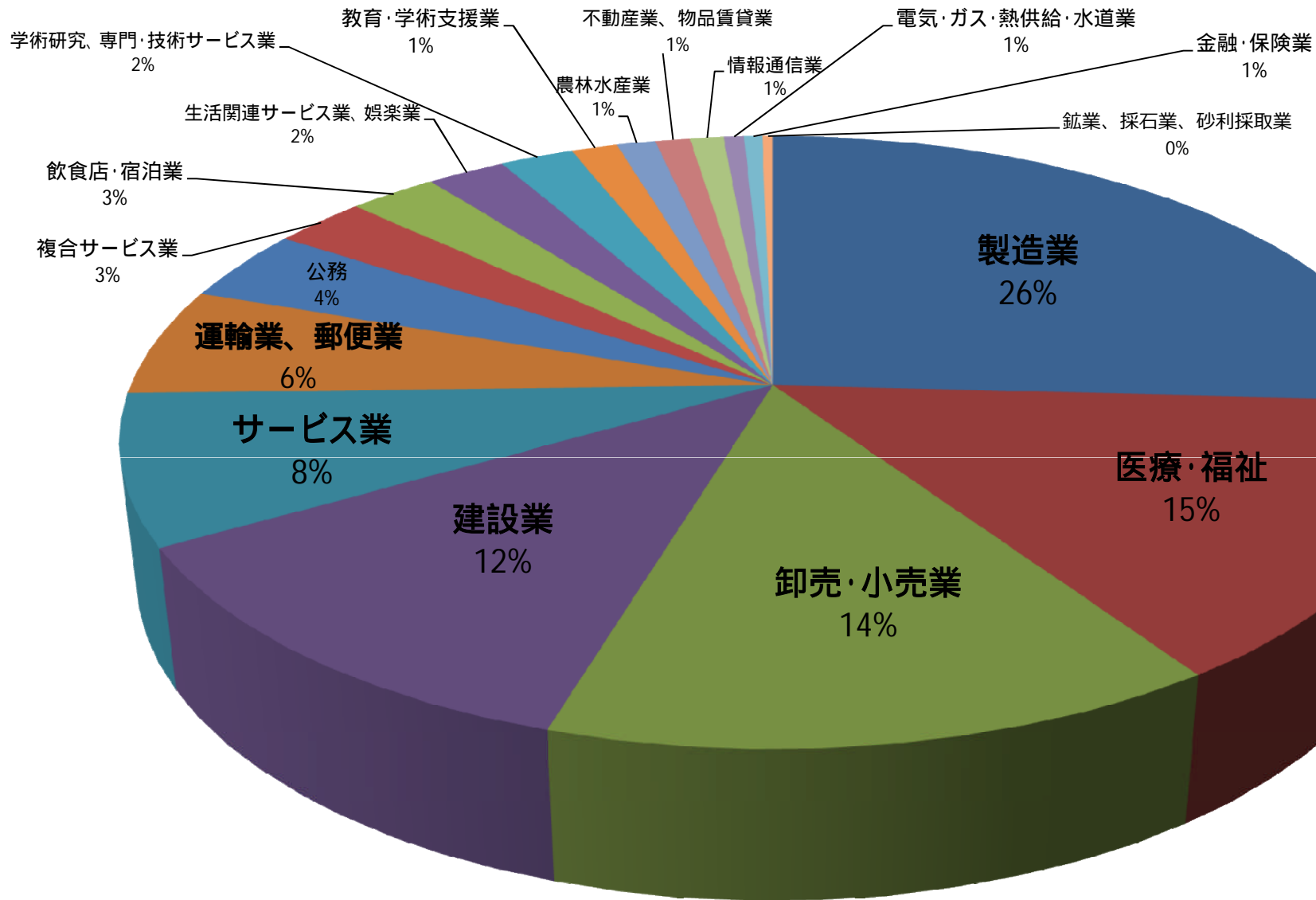
業態区分ごとにフィルターをかけ、対象者、各リスク該当者等を抽出する。

業態区分対応表

大区分	小区分
農林水産業	農林水産業
鉱業、採石業、砂利採取業	鉱業、採石業、砂利採取業
建設業	総合工事業 職別工事業 設備工事業
製造業	食料品・たばこ製造業 繊維製品製造業 木製品・家具等製造業 紙製品製造業 印刷・同関連業
	化学工業・同類似業 金属工業 機械器具製造業 その他の製造業
電気・ガス・熱供給・水道業	電気・ガス・熱供給・水道業
情報通信業	情報通信業
運輸業、郵便業	道路貨物運送業 その他の運送業
卸売・小売業	卸売業 飲食料品以外の小売業 飲食料品小売業 無店舗小売業

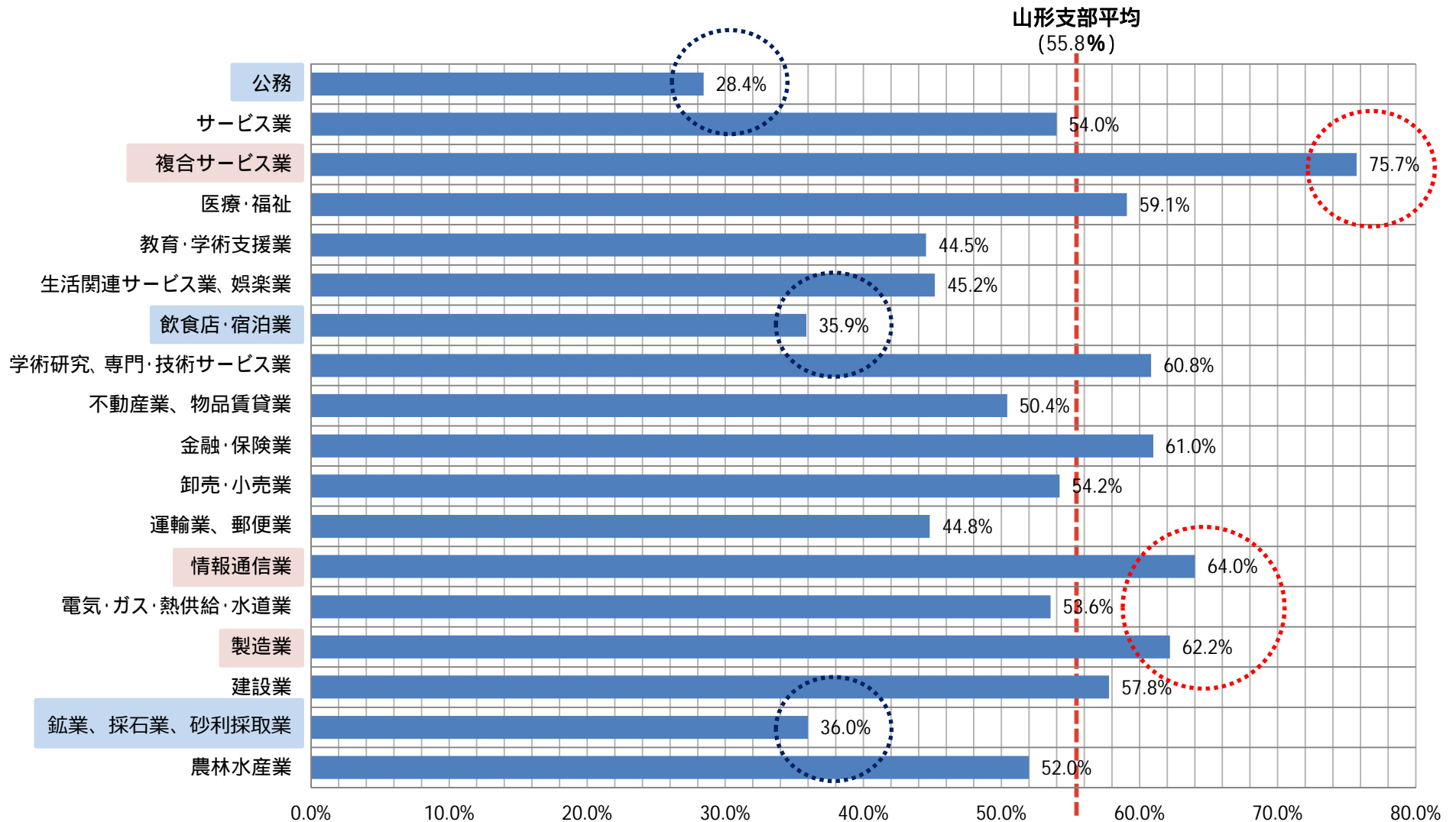
大区分	小区分
金融・保険業	金融・保険業
不動産業、物品賃貸業	不動産業 物品賃貸業
学術研究、専門・技術サービス業	学術研究機関 専門技術サービス業
飲食店・宿泊業	飲食店 宿泊業
生活関連サービス業、娯楽業	対個人サービス業 娯楽業
教育・学習支援業	教育・学習支援業
医療・福祉	医療業・保健衛生 社会保険・社会福祉・介護事業
複合サービス業	複合サービス業
サービス業	職業紹介・労働者派遣業 その他の対事業所サービス業 修理業 廃棄物処理業 政治・経済・文化団体
公務	公務

健診受診対象者の業態別割合



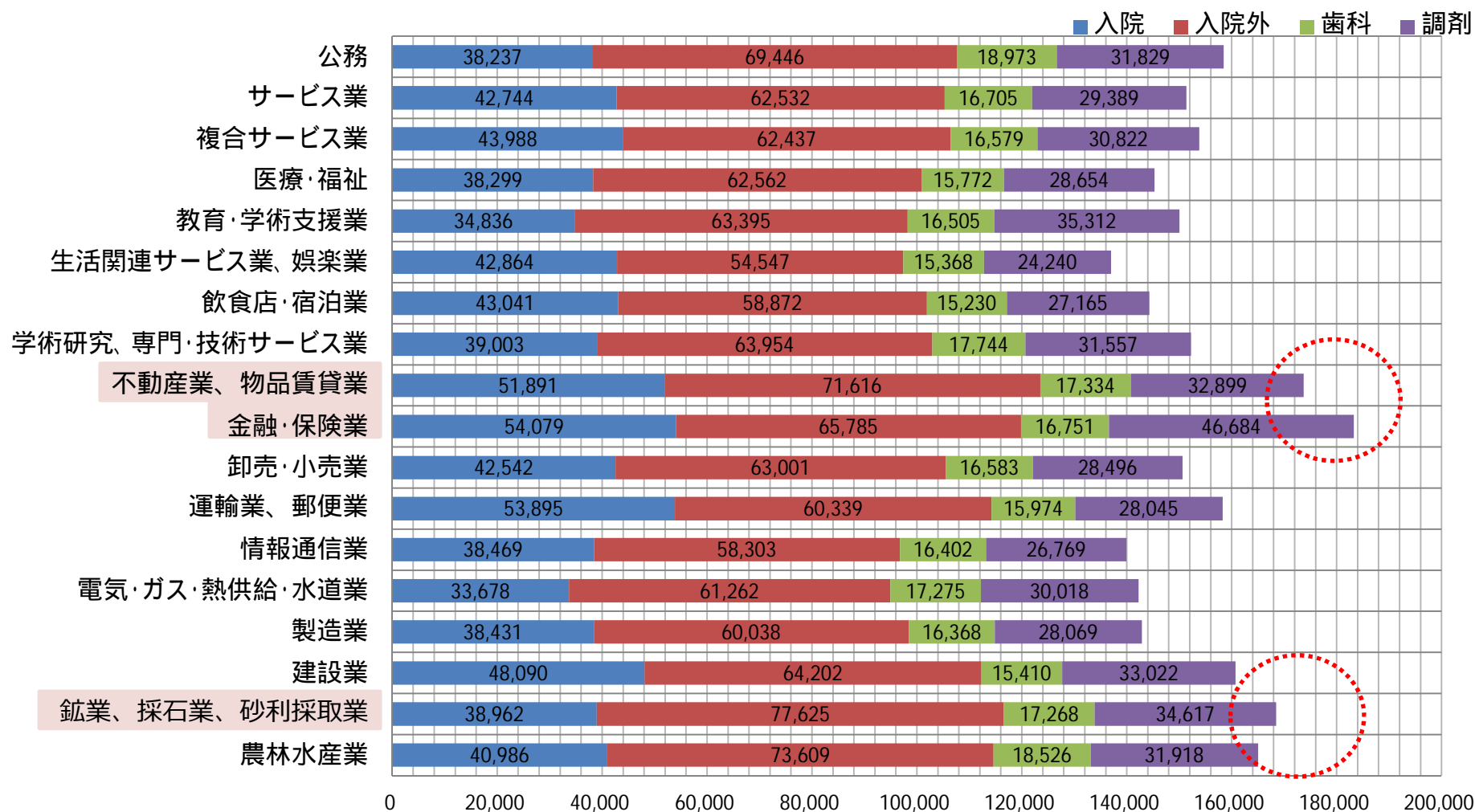
上位6業種で、全体の81%を占めている

業態別生活習慣病予防健診受診率



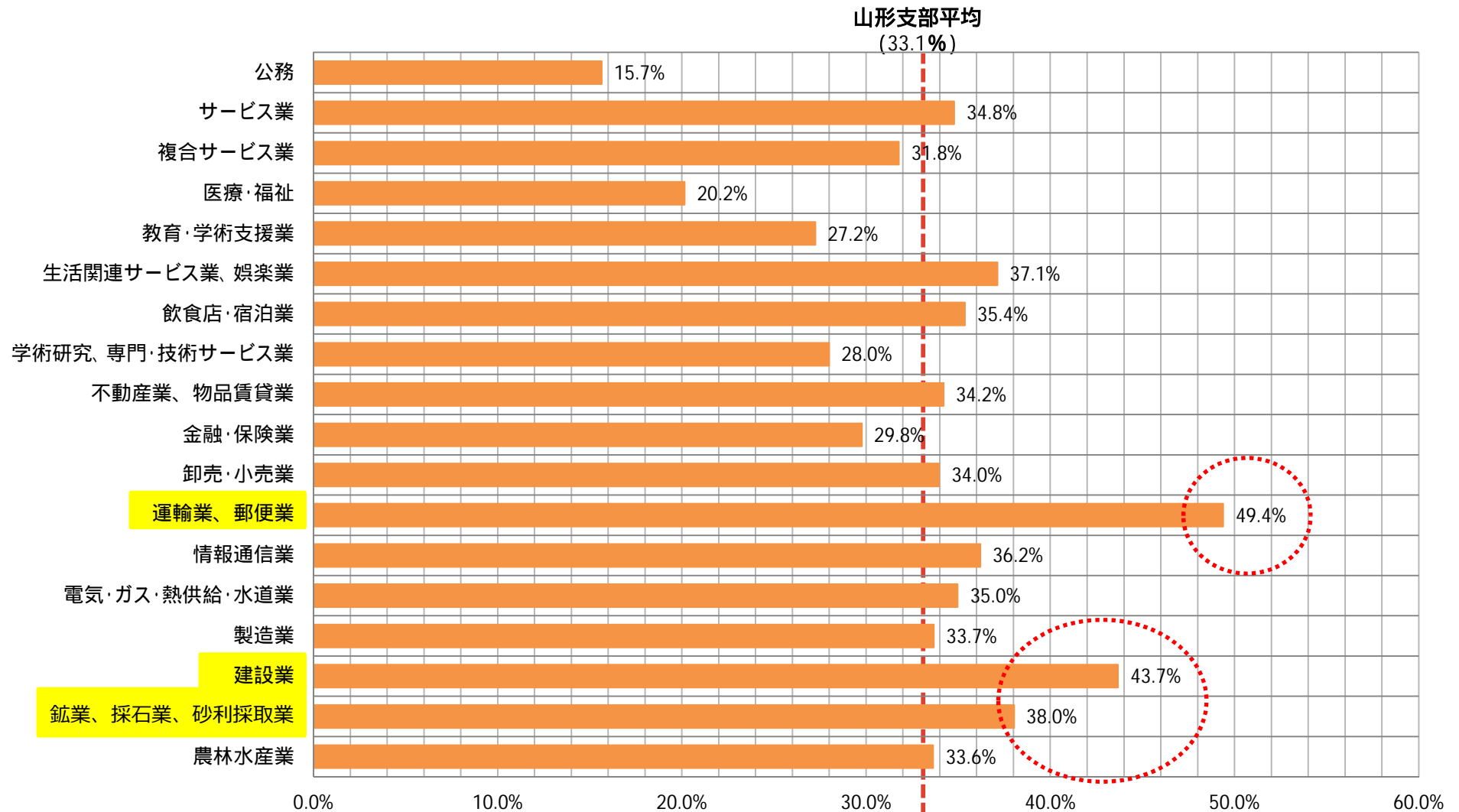
複合サービス業、情報通信業、製造業の受診率が高い傾向
 公務、飲食店・宿泊業、鉱業・採石業・砂利採取業の受診率が低い傾向

業態別加入者1人あたり医療費



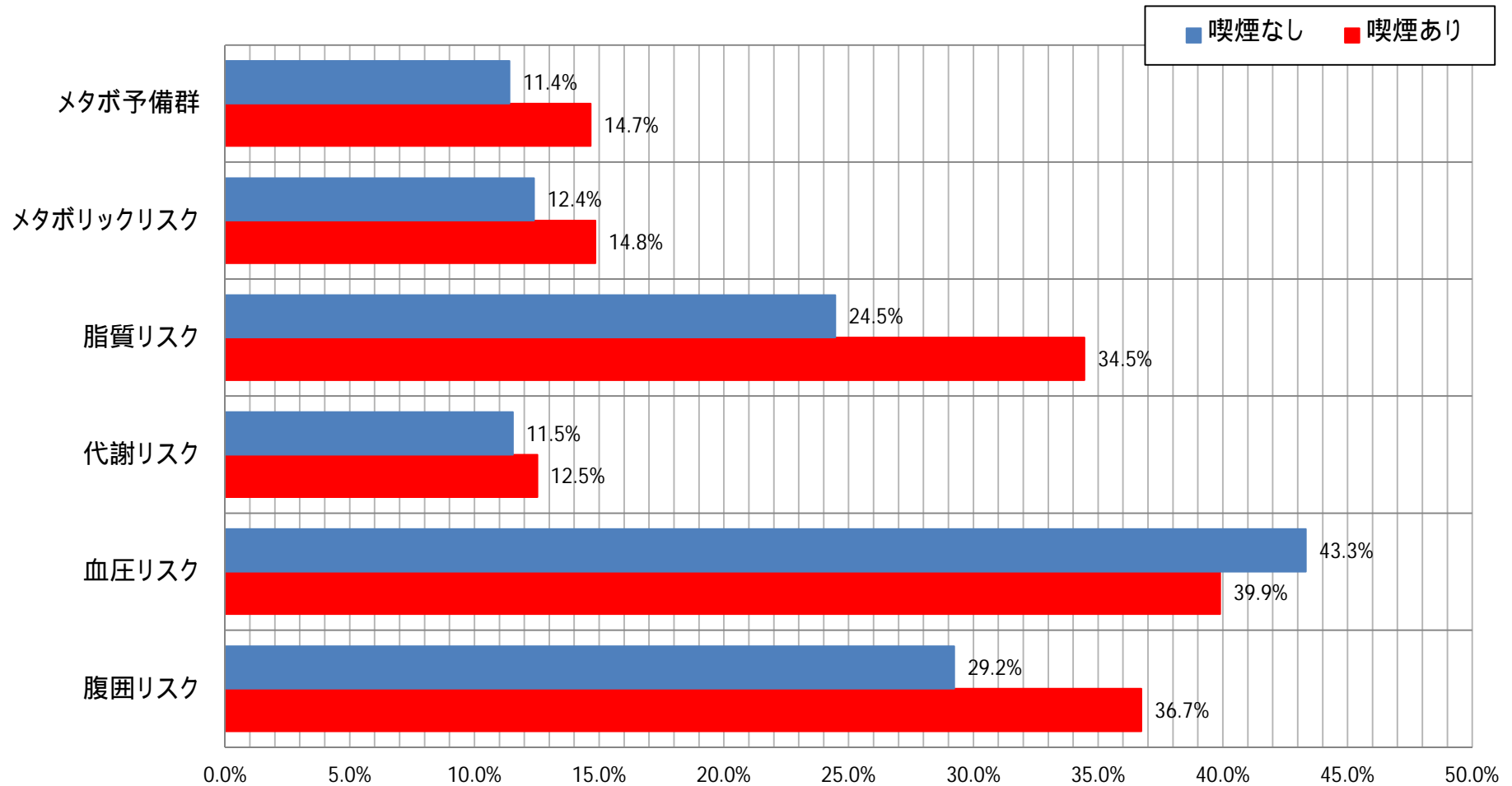
金融・保険業、不動産業・物品賃貸業、鉱業・採石業・砂利採取業の順に高い

業態別喫煙割合



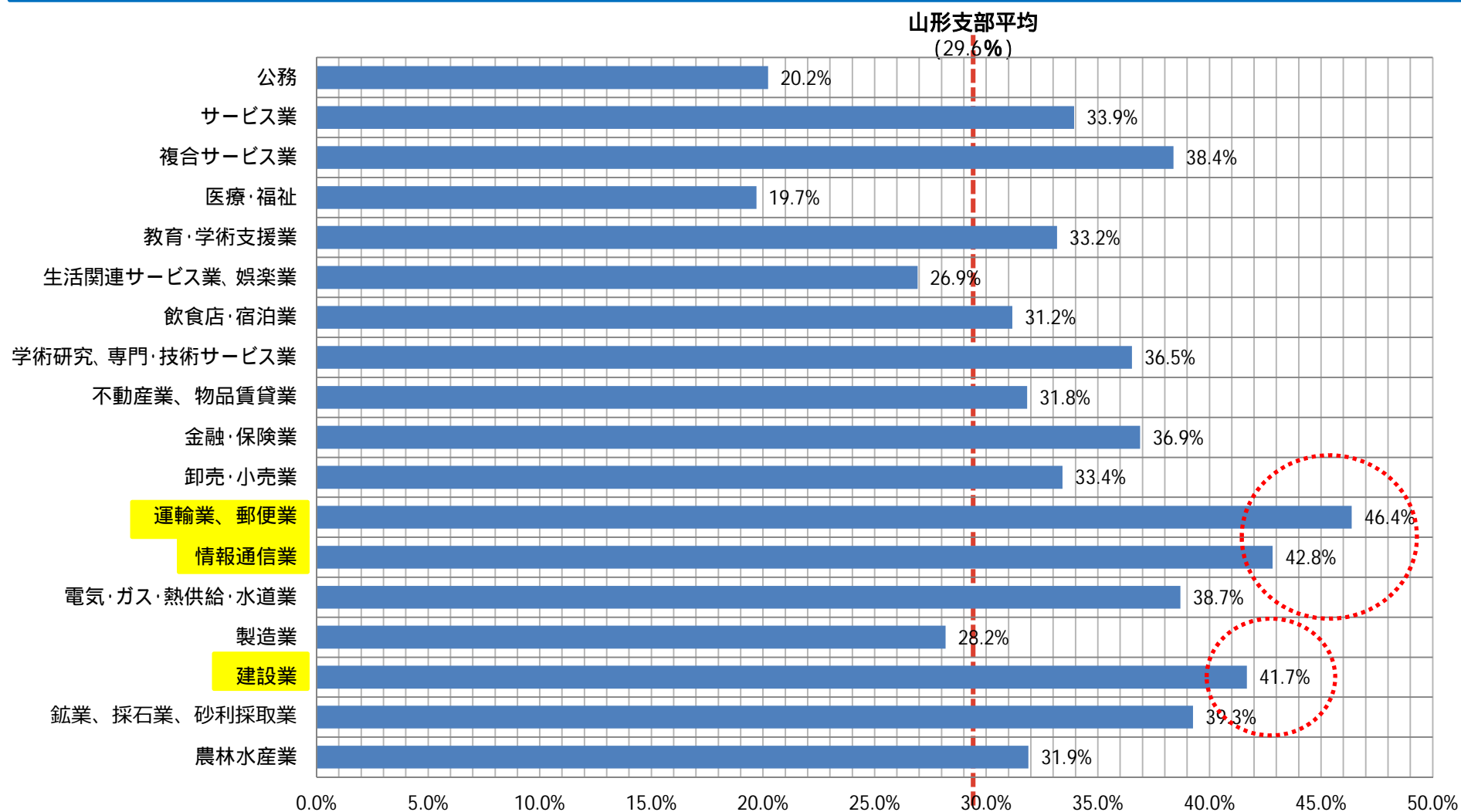
運輸業・郵便業、建設業、鉱業・採石業・砂利採取業の喫煙割合が高い傾向

喫煙とリスク割合の関係



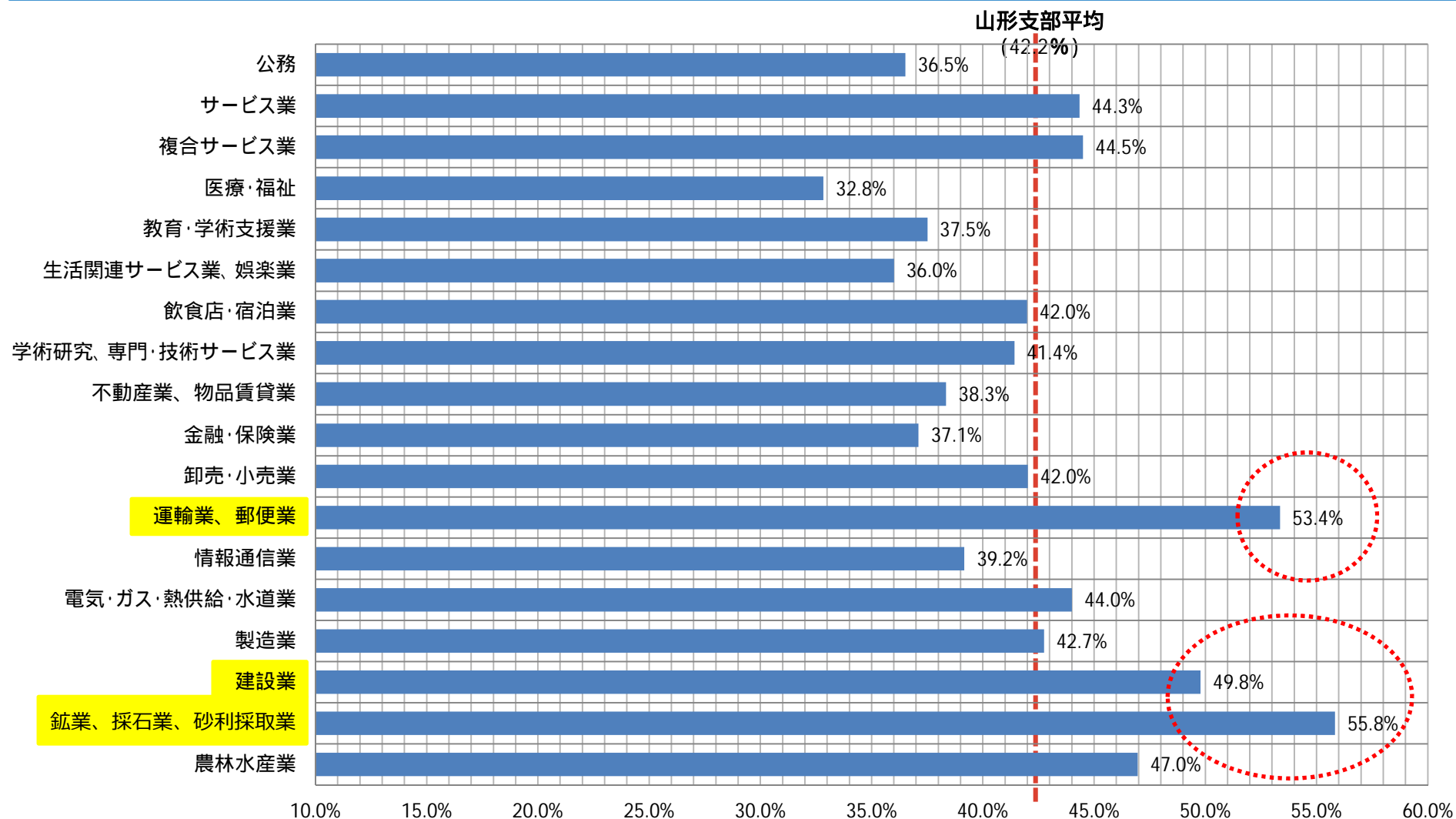
血圧を除く全てにおいて、喫煙ありのグループにおけるリスク該当割合が高くなっている

業態別リスク保有割合(腹囲)



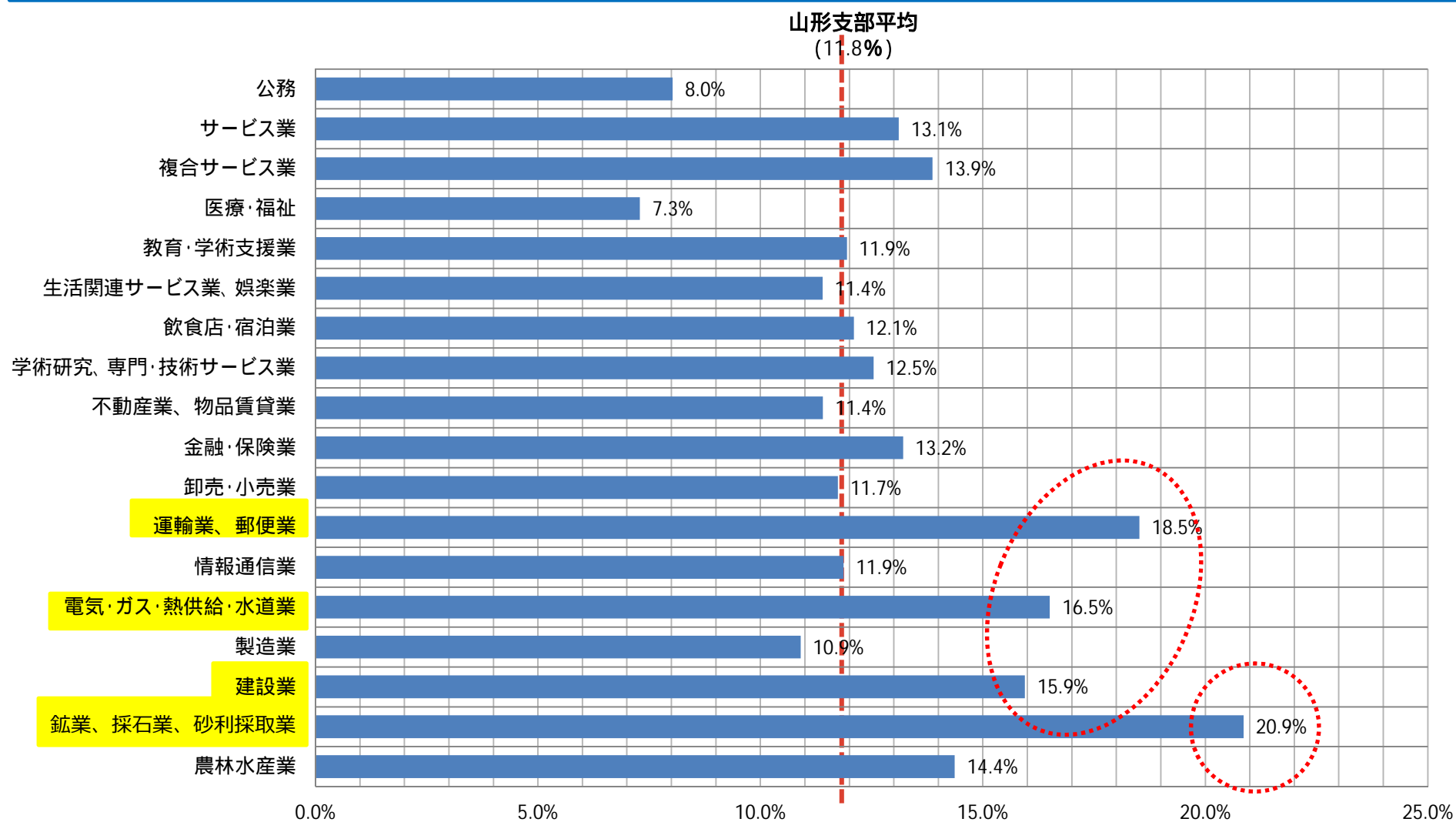
運輸業・郵便業、情報通信業、建設業のリスク割合が高い傾向

業態別リスク保有割合(血压)



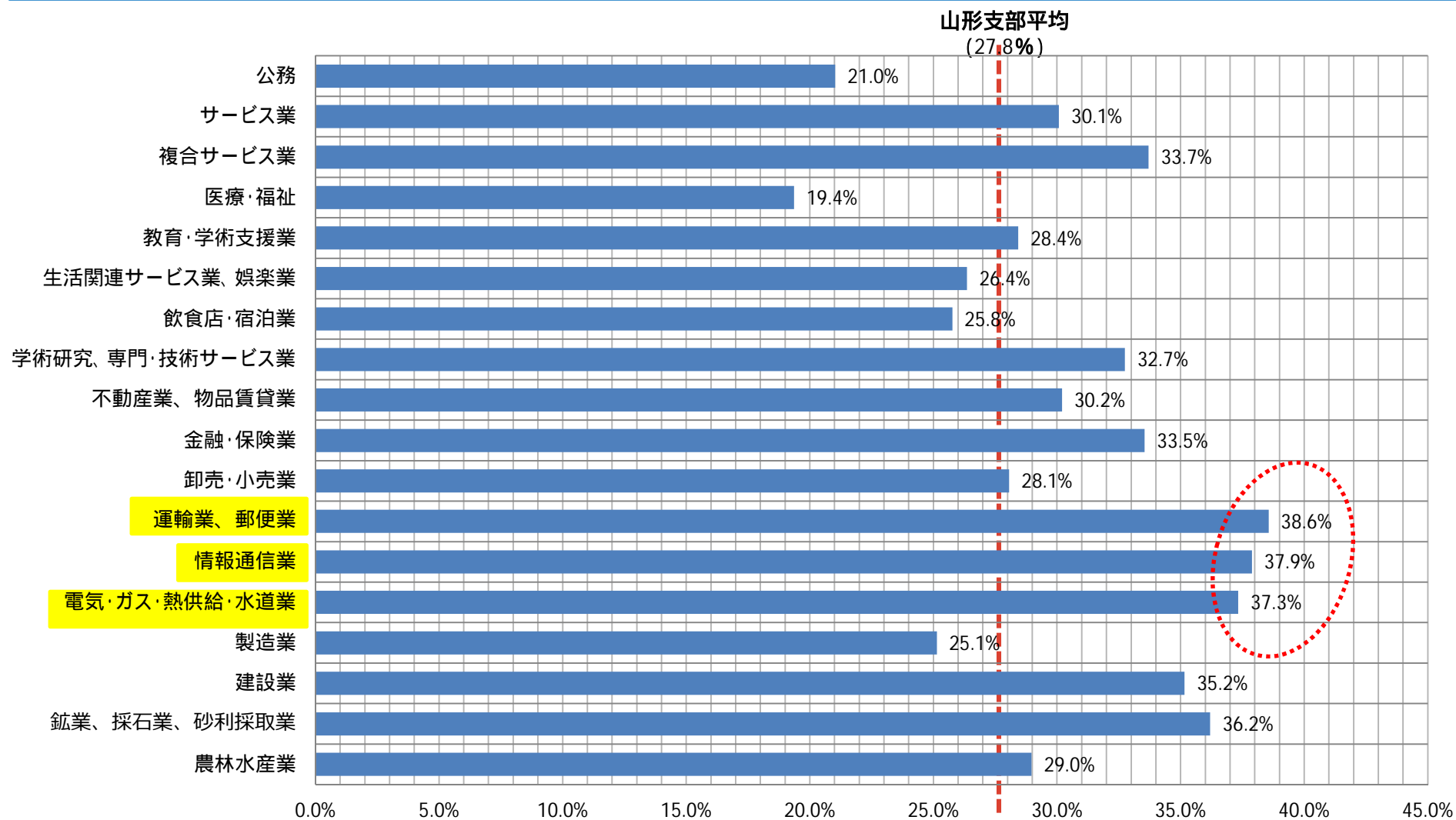
運輸業・郵便業、建設業、鉱業・採石業・砂利採取業のリスク割合が高い傾向

業態別リスク保有割合(代謝)



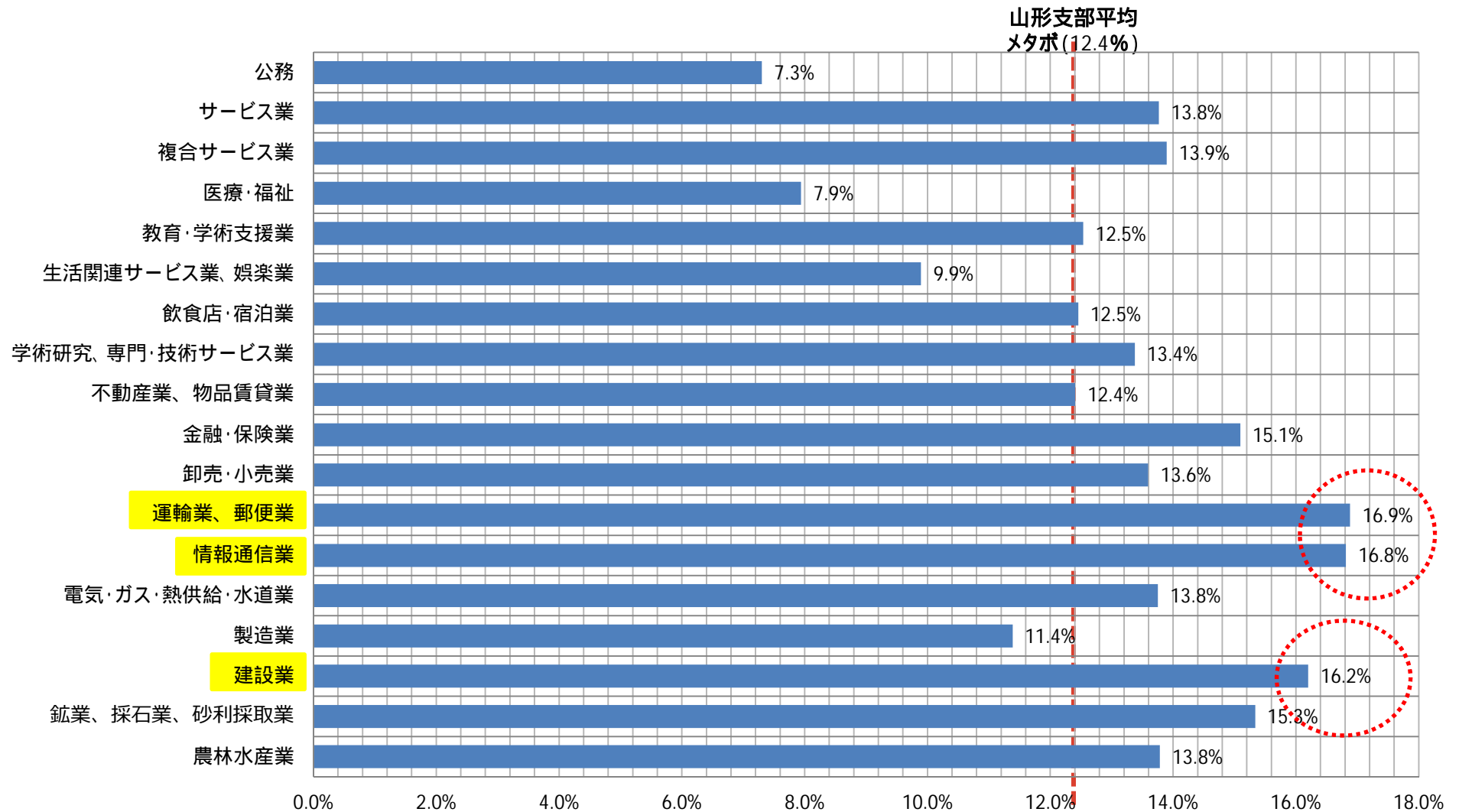
鉱業・採石業・砂利採取業、運輸業・郵便業、電気・ガス熱供給・水道業、建設業、のリスク割合が高い傾向

業態別リスク保有割合(脂質)



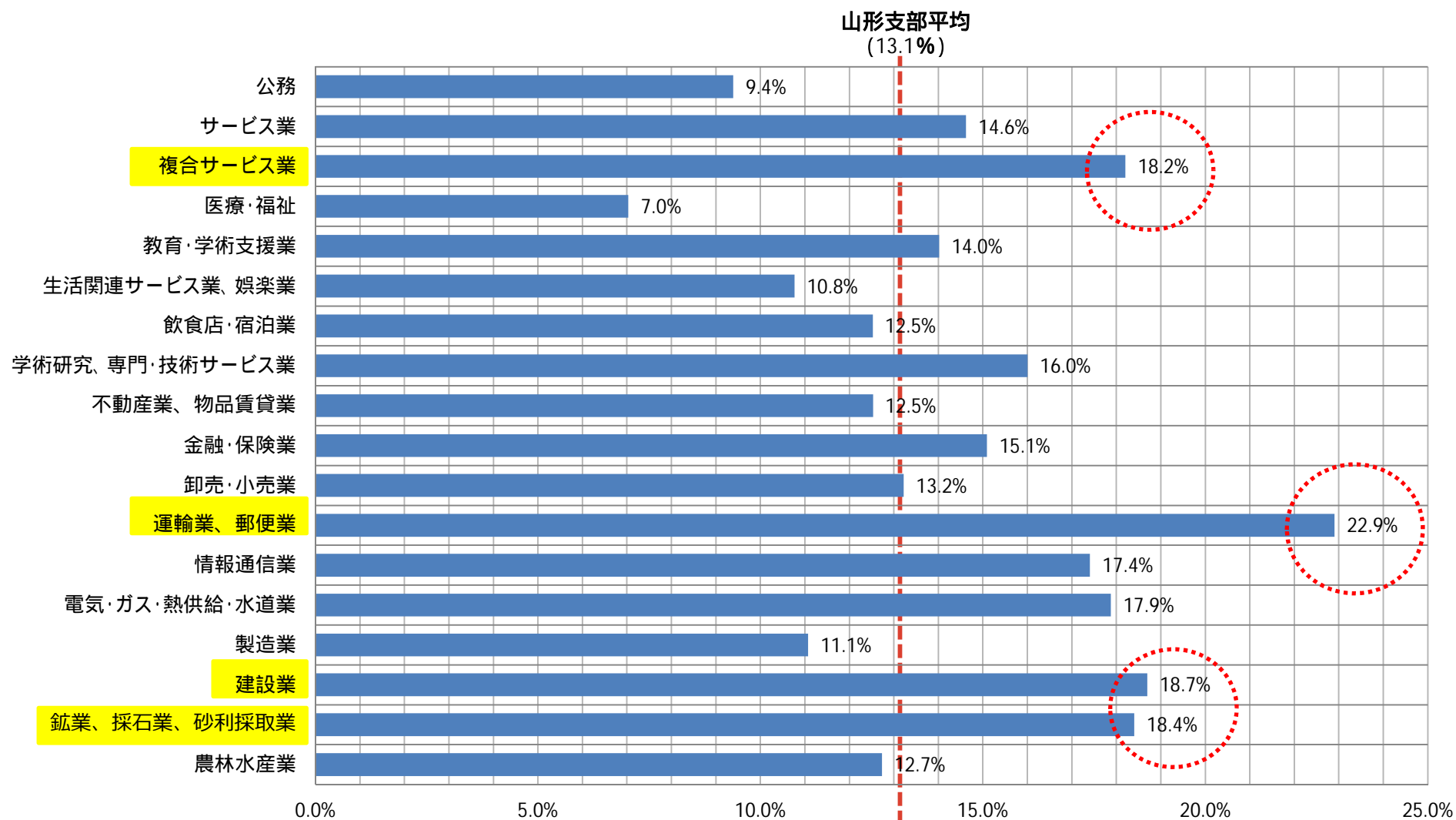
大差はないが、情報通信業、運輸業・郵便業、電気・ガス熱供給・水道業のリスク割合が高い傾向

業態別リスク保有割合(メタボリック)



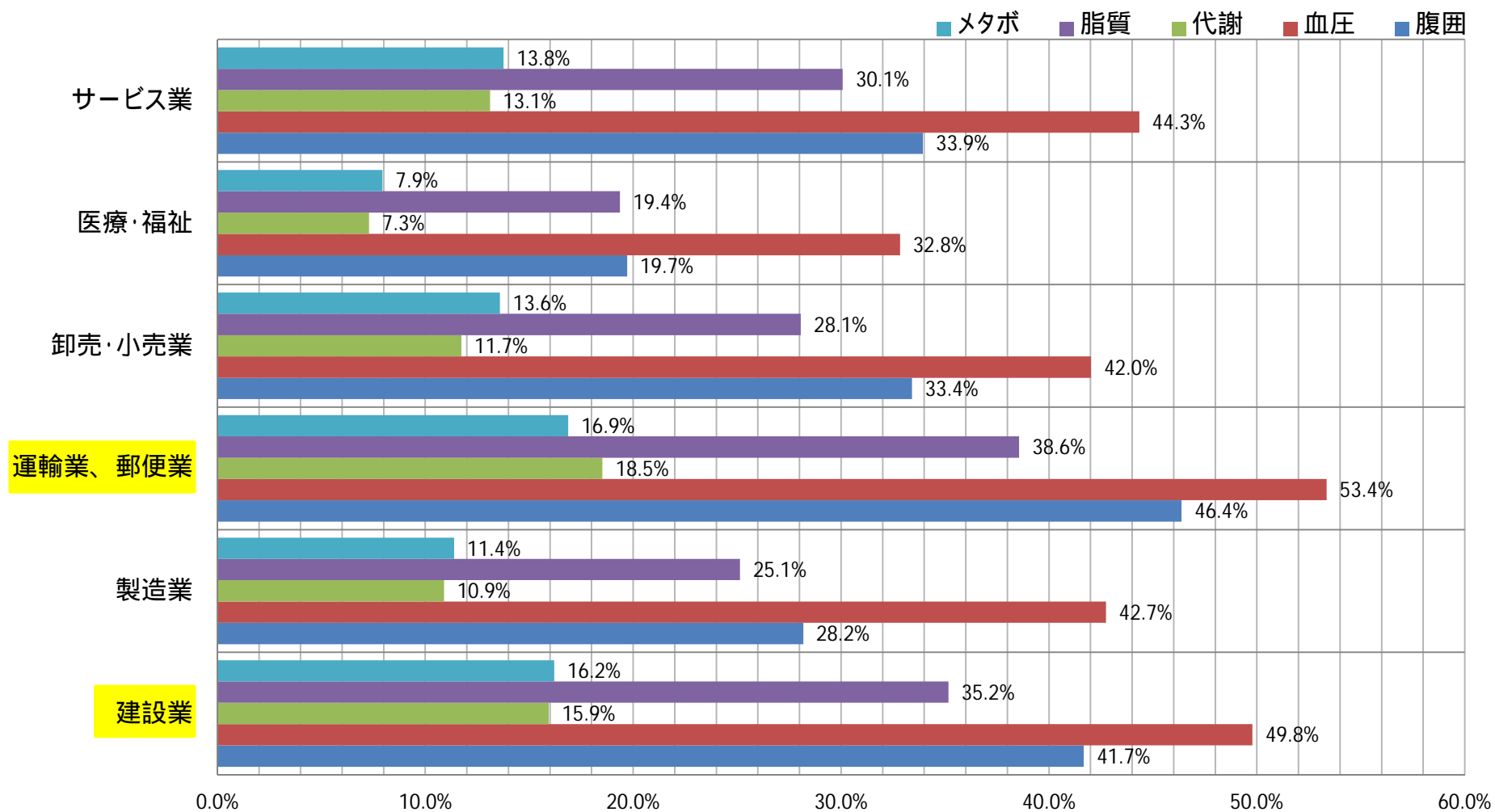
運輸業・郵便業、情報通信業、建設業のリスク割合が高い傾向

業態別リスク保有割合(メタボ予備群)



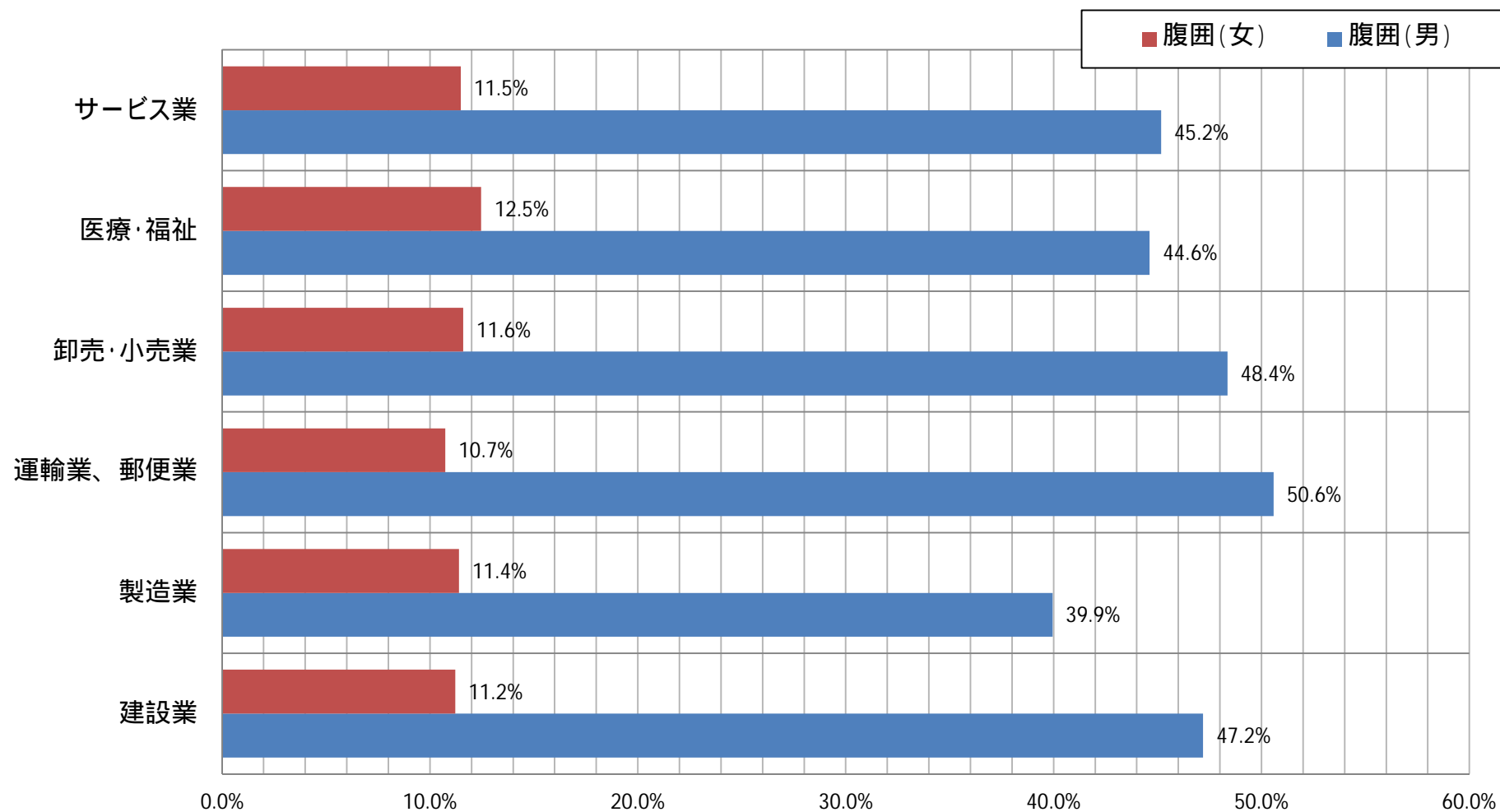
運輸業・郵便業、建設業、鉱業・採石業・砂利採取業、複合サービス業のリスク割合が高い傾向

上位6業種における各リスク該当者割合



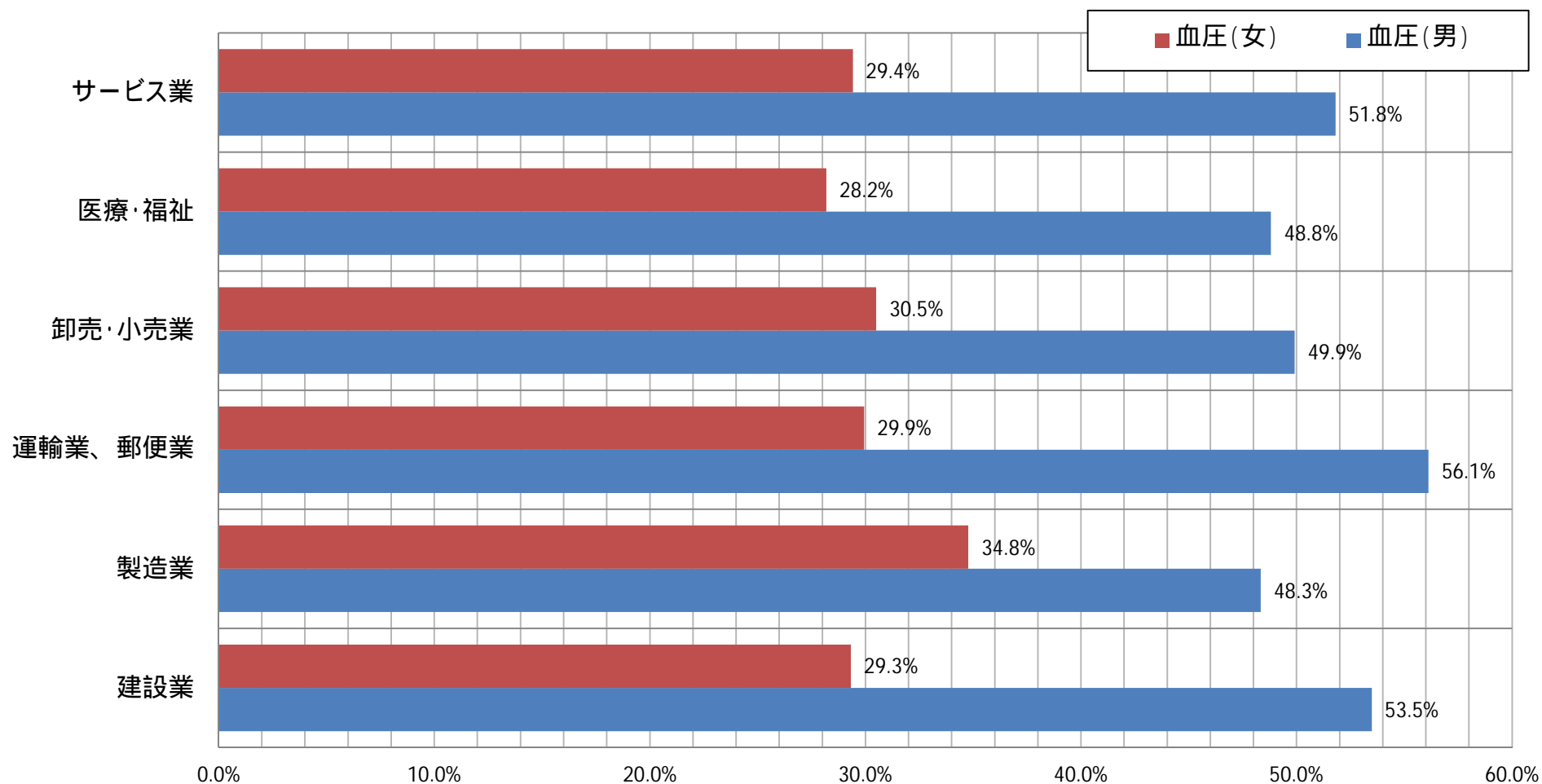
どの業種も血圧リスクが最も高く、運輸業・郵便業では半数以上にのぼる
また、運輸業・郵便業、建設業は、全てのリスクにおいて他の4業種よりも高い

上位6業種における男女別リスク該当者割合(腹囲)



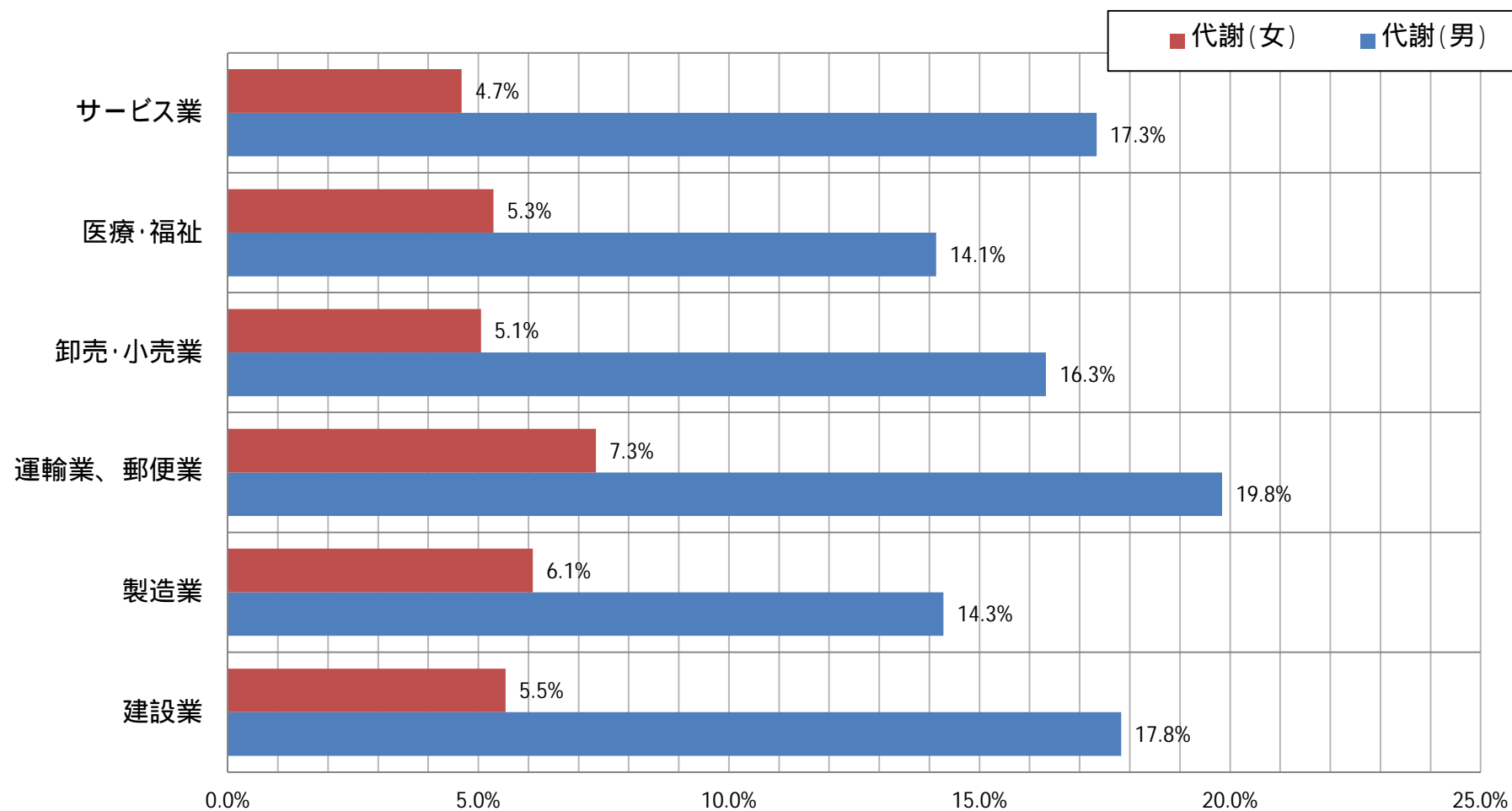
腹囲リスクについては、どの業種も圧倒的に男性の方が高い
男性の中では製造業の割合が低め

上位6業種における男女別リスク該当者割合(血圧)



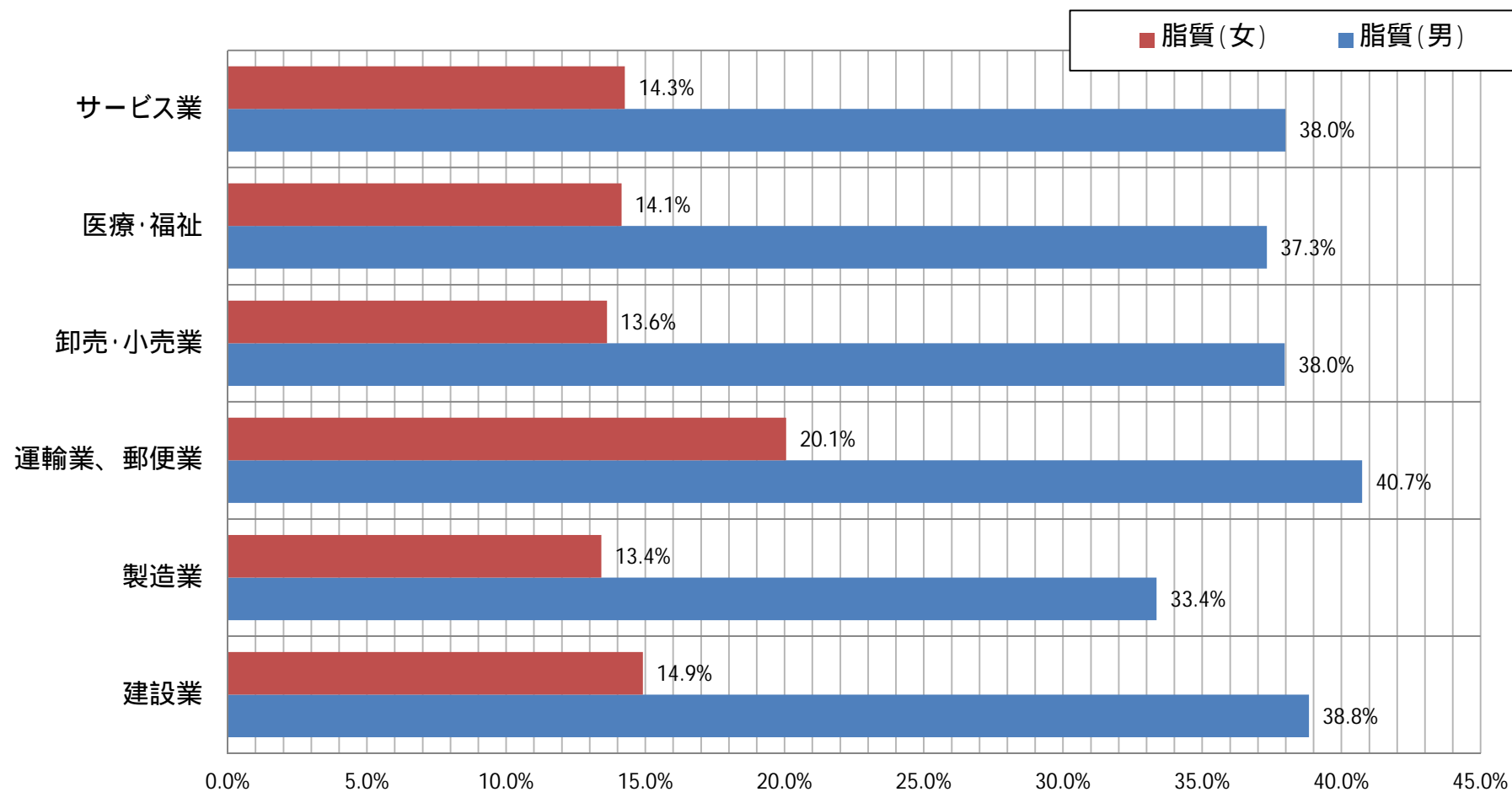
全ての業種で高めだが、男性の運輸業・郵便業、建設業、サービス業のリスク該当割合は半数を超える
他のリスクに比べて女性の該当割合も高く、中でも製造業の割合が高め

上位6業種における男女別リスク該当者割合(代謝)



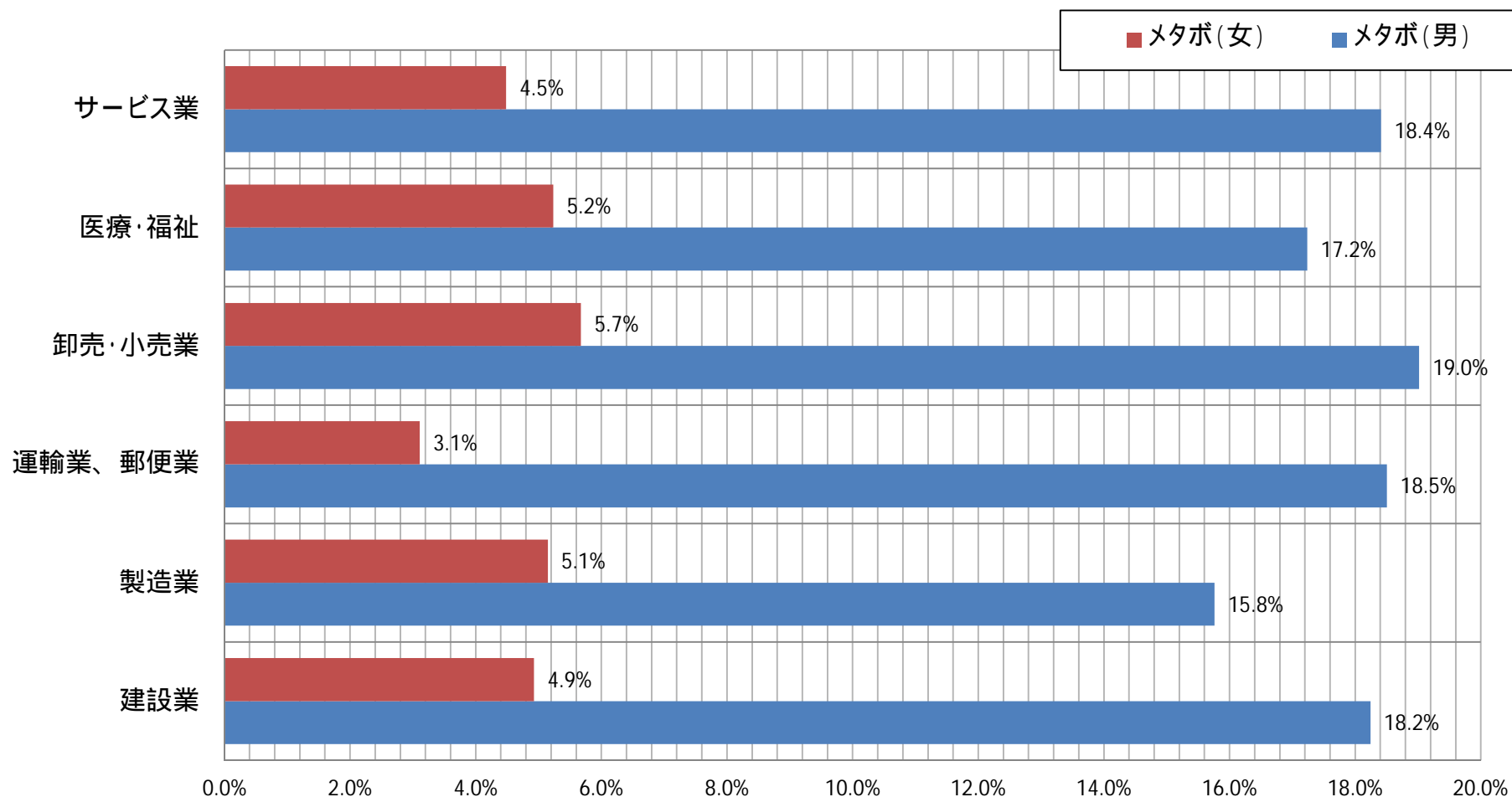
男性・女性とも運輸業・郵便業のリスク該当割合が高い

上位6業種における男女別リスク該当者割合(脂質)



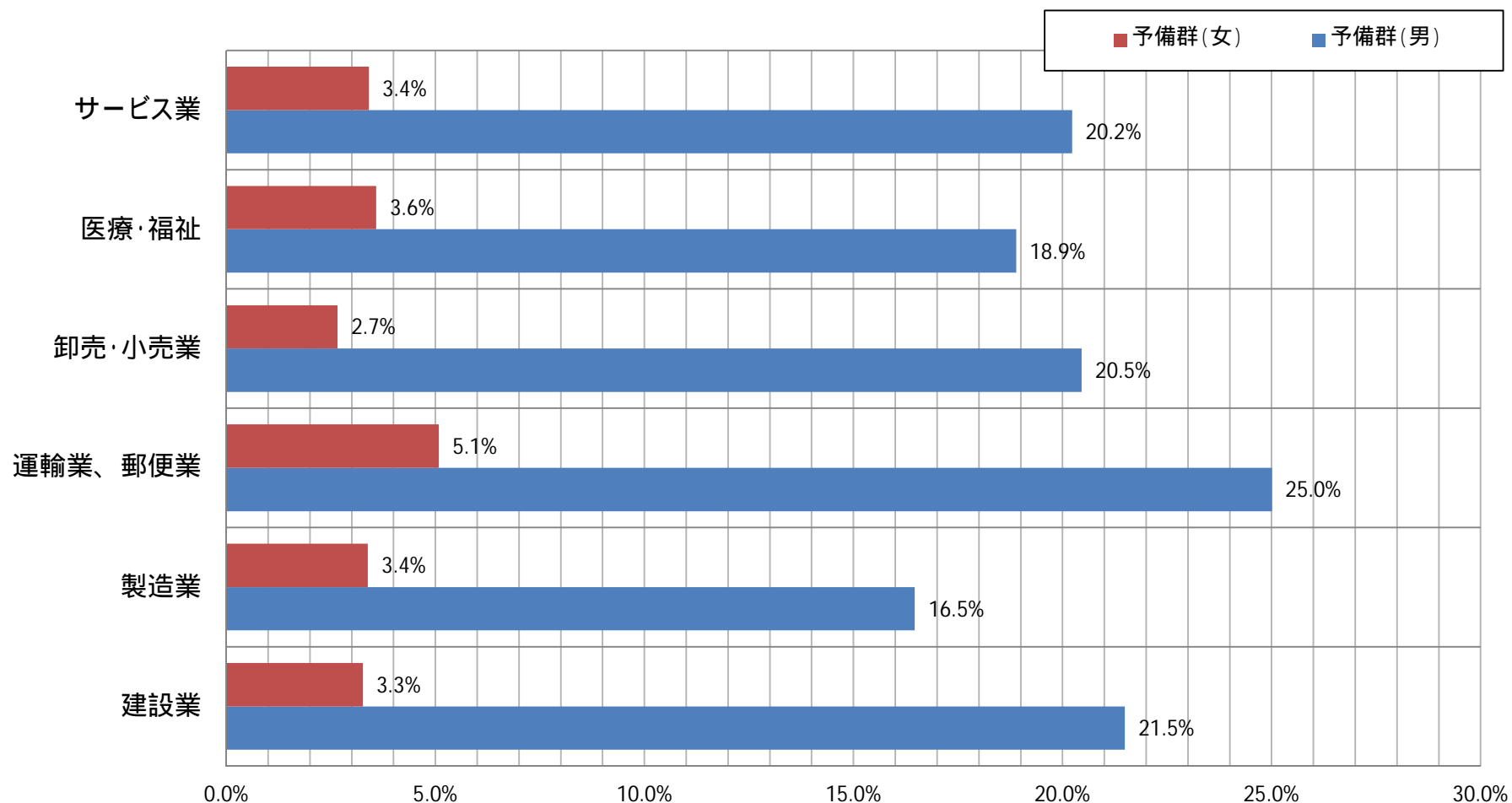
男性・女性とも製造業の割合が低め
男性・女性とも運輸業・郵便業の割合が高い

上位6業種における男女別リスク該当者割合(メタボ)



メタボリックリスクの該当割合は男性が圧倒的に高い
男性・女性とも卸売・小売業の該当者割合が高め

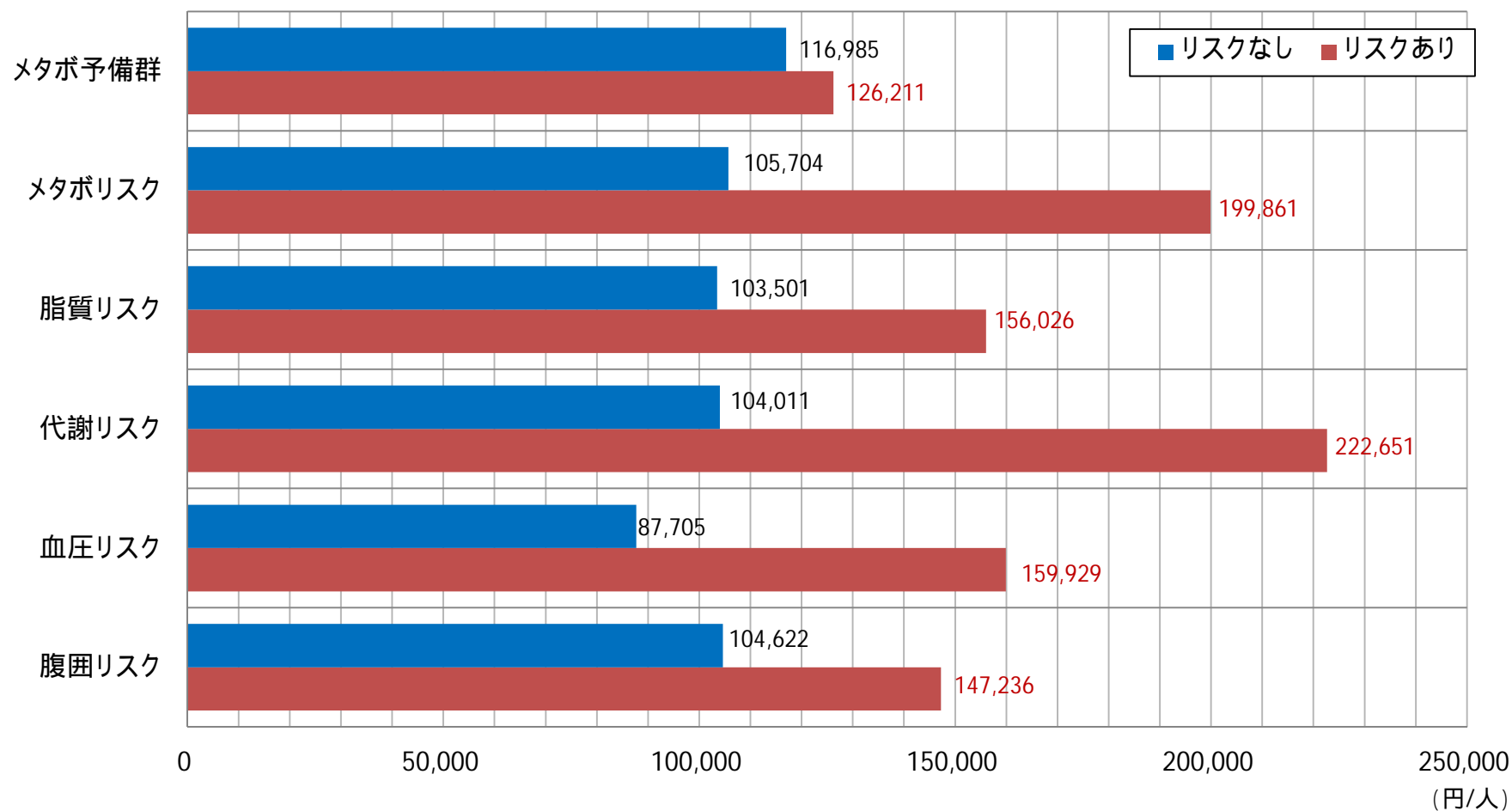
上位6業種における男女別リスク該当者割合(予備群)



メタボリック予備群の該当割合は、男性が圧倒的に高い
男性・女性とも運輸業・郵便業の該当者割合が高い

リスクの有無と1人あたり医療費の関係

【平成23年度入院 + 外来】



全てのリスクにおいて、リスクありのグループの方がリスクなしのグループよりも1人あたり医療費が高い。

市町村別リスク保有割合

使用データ・集計方法

使用データ

- ・山形県郵便番号データ(日本郵便ホームページより)
- ・平成23年度健診受診者リスト(協会けんぽ本部提供データ)

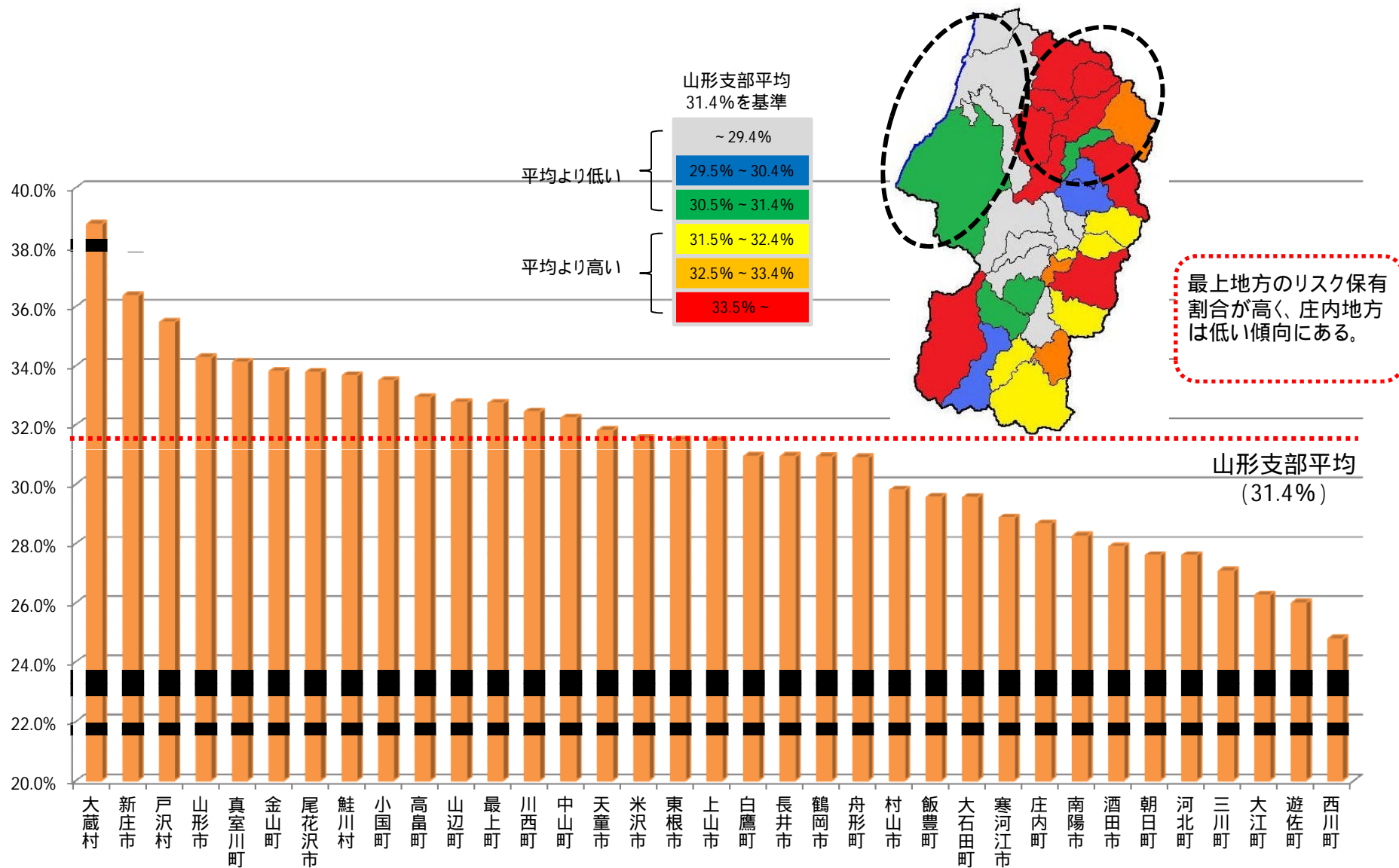
集計方法

健診受診者リストには、対象者1名に対して医療機関の受診ごとに複数のデータが入っている状態なので、対象者1名につき1つのデータとなるよう重複しているデータを削除。

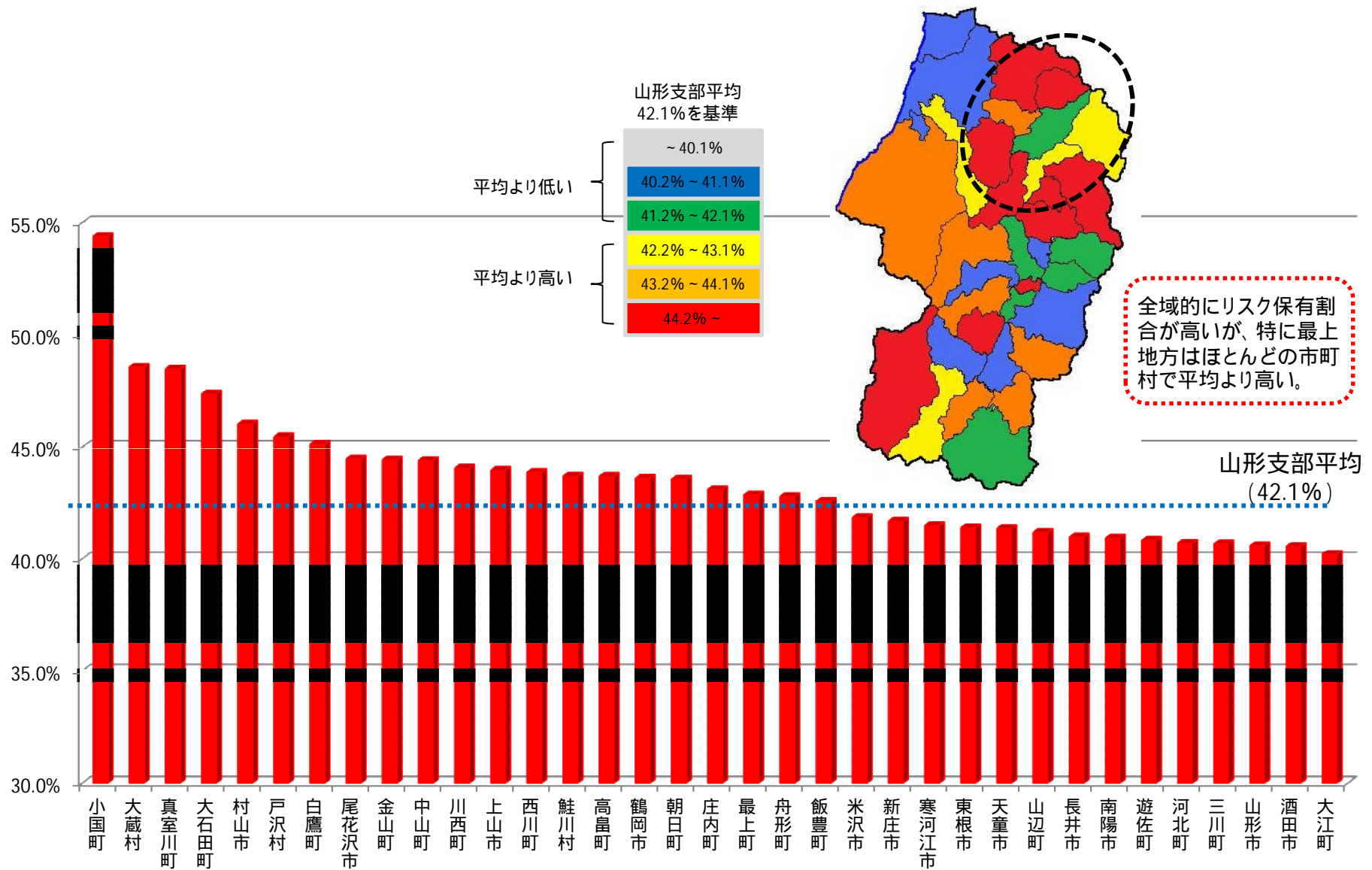
健診受診者リストの各リスク該当項目が空白となっているデータ、及び判別不可となっているデータを除外。

郵便番号データと健診受診者リストのデータを結合し、受診者の居住する市町村ごとに対象者、各リスク該当者等を抽出する。

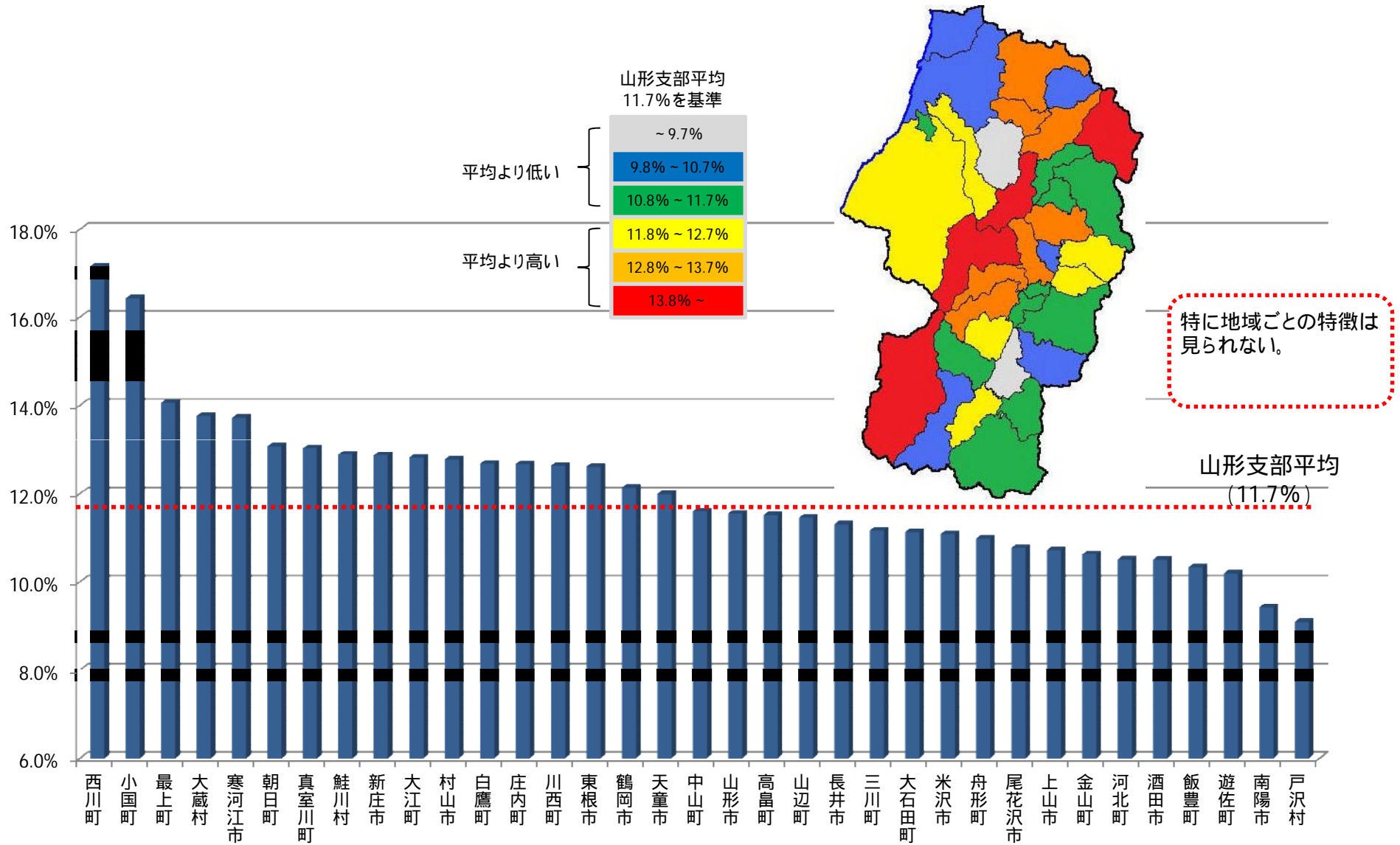
腹囲リスク保有割合



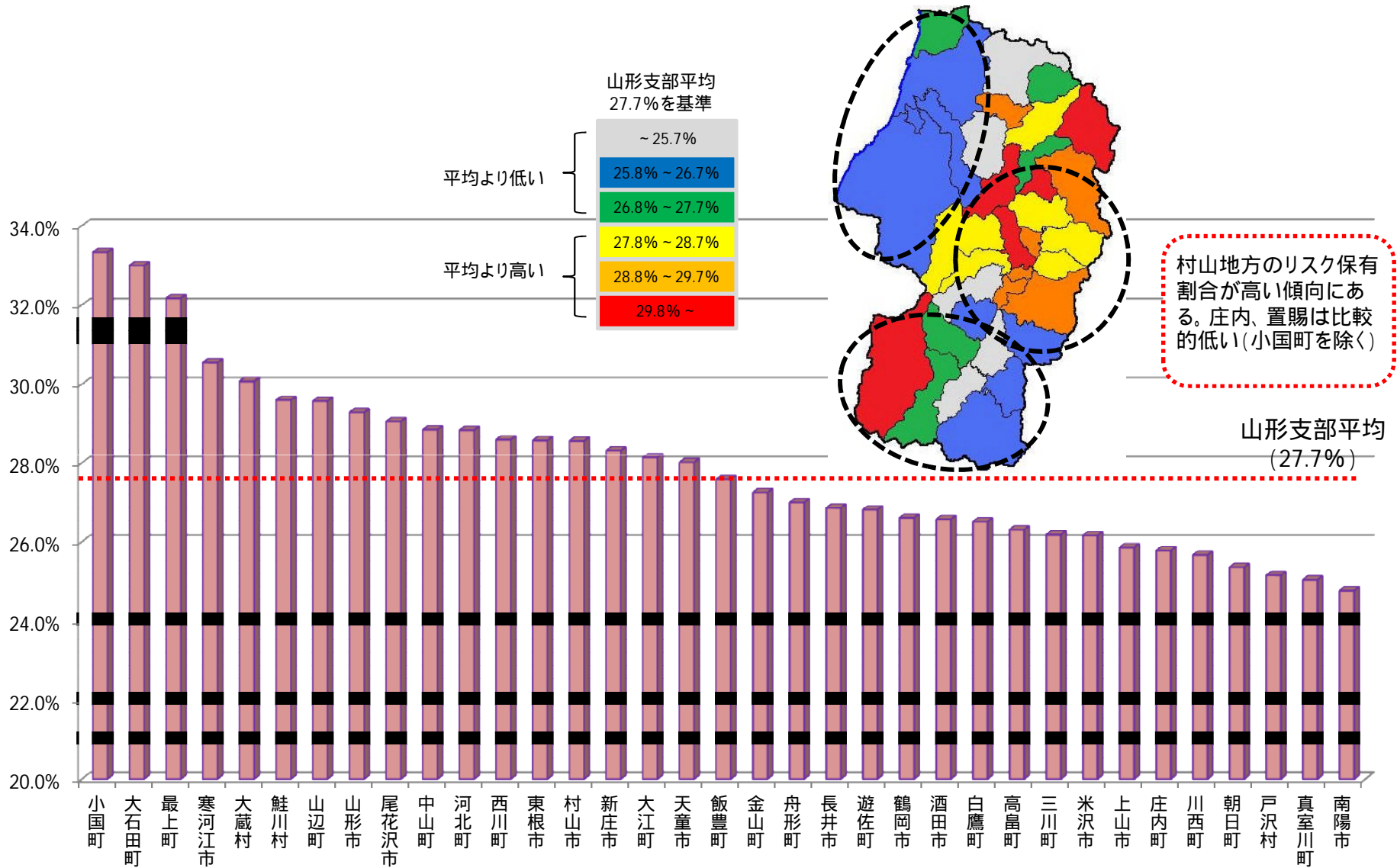
血圧リスク保有割合



代謝リスク保有割合



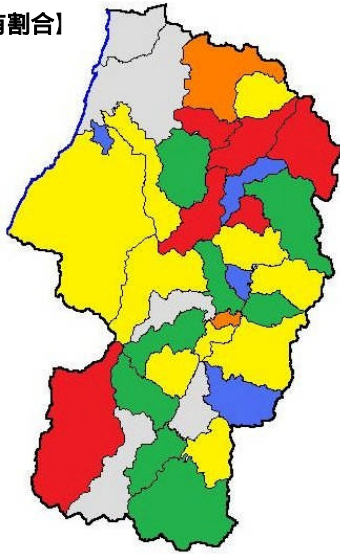
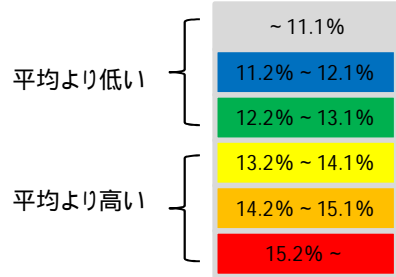
脂質リスク保有割合



メタボリックリスク保有割合(予備群を含む)

【メタボリスク保有割合】

山形支部平均
13.1%を基準



【メタボ予備群割合】

山形支部平均
12.4%を基準

